

サービス価格

環境への配慮が社会全体に求められる中で、配送に使う段ボール箱を再利用できる通い箱に切り替える企業が出てきた。段ボールを捨てたり、リサイクルに回したりする手間がなくなる。調達コストを抑えたいと考える企業が増えていることが背景だ。紙製の通い箱の管理会社、スターウェイ(東京・港)の竹本直文社長に市場の動向を聞いた。

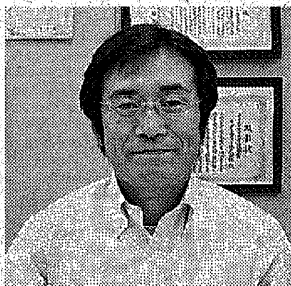
焦点

「通い箱」への切り替え増加

「我が社の開発した通い箱を、富士ゼロックスが昨年導入した。二〇一〇年にしか扱っていない。我が社が部品の出荷量の約七〇%で使う方針と聞いている。同社以外でもセイコーエプソングループなど約四十社が導入しており、前年同期の倍

「我が社の開発した通い箱を、富士ゼロックスが昨年導入した。二〇一〇年にしか扱っていない。我が社が部品の出荷量の約七〇%で使う方針と聞いている。同社以外でもセイコーエプソングループなど約四十社が導入しており、前年同期の倍

人員・処分コスト削減



たけもと・なおふみ 82年(昭57年)神奈川県大磯。他の民間企業勤務を経て、90年LSIロジック日本法人入社。99年に同社を退社しスターウェイを設立、社長に就任。48歳。

スターウェイ社長

竹本直文氏

は増えると考えている。今業に貸し出している。今の通い箱を使いたい企業の申し込みをさばきれない。紙製の通い箱とはど

紙を原料とする硬質ボードを使ったものを回収する。一行程ごとに一箱二千五百円程度としている。実際の配送は契約した運輸会社が一貫して行う。企業にはどのような利点があるのか。「これまでの例では従来の復活祭にちなみ、イスタ型」の段ボール箱を使うのに比べ、五五五のコストダウンに成功した企業もある。「我が社は通い箱を三万箱保有し、必要に応じて企業に」としては段ボール箱を仕入れるための人員や処分コストもかからない利点がある。また我が社の箱にカーの利用が多い。料金制はほとんどICタグが付いているから、運び先の追跡も容易だ。五月、荷台(パレット)のレンタル最大手の日本パレットレンタル(東京・中央)と提携した。食品や日用雑貨品の配送に実績のある企業だけに新分野を開拓できると期待している。既存の取引先の多くが進出済み。我が社も昨年中国に現地法人を設けており、通い箱ビジネスを世界に広げたいと考えている(聞き手は小山隆司)